

PTA あきた

～みんなで育てる 秋田の子ども～



(1)PTAあきた

2013.3.1 No.121

【発行】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中継駅1番1地 秋田県生涯学習センター内
TEL.0181-864-8675 FAX.0181-824-7935
E-mail: pta-akita@ninen.chuhp.jp
http://www.pta-akita.com



港北小学校 学習発表会

東日本大震災の体験を 風化させないで

今年も「3・11」がやってくる。あの強烈なそして忌まわしい大地震から3度目の「3・11」だ。地震被害からの復興を目指す被災した人たちは、必死の思いで日々不自由な生活のなか一日も早くもとに戻りたいとがんばっている。1年、2年と時が経つにつれ被災地への思いは風化してきてはいないだろうか。特に原発で放射能汚染を抱えた福島県は未だに県外への避難生活を強いられるなど事態はより深刻だ。

私は、被災地の子どもたちを思うたびに目頭が熱くなる。一生懸命がんばろうとしている健康な姿、屈託のない笑顔、そして何事もなかったように振舞う他愛のない会話。どれも生涯決して忘れることはないであろうあの大地震の体験を、ニュートラルにしようとしているように思えてならない。「大地震さえないけれ

ば」、「もし大地震がなかったら」、人生は違うものになっていたかもしれないのという思いを、すべて覆い隠すように子どもたちは振る舞い、大人と接しているように見える。

2011年3月11日 東日本大震災。歴史の教科書にこの記述が掲載される時、おそらく親になっているであろう今の子どもたちは、自身の体験をどう伝えていくのだろうか。

単なる歴史の1ページにしてはならない多くの出来事を、私たち大人も子どもたちも将来どう語りついでいけばいいのか、じっくり子どもたちと話してみよう。

「3・11」は風化させてはいけないのである。

秋田県PTA連合会
会長 加藤 寿一



平成25年3月

優良PTA文部科学大臣賞

変わらない気持ち

鹿角市立花輪小学校PTA会長

黒沢隆実 氏



この度私達、鹿角市立花輪小学校PTAは、より良い学校づくりの為に、PTAが各種団体と連携しながら主体的に活動してきたことが評価されまして、昨年の11月22日、東京都のホテルニューオータニにて行われた日本PTA全国協議会年次表彰式におきまして「優良PTA文部科学大臣表彰」の栄えある賞を頂きました。

全国の小学校、中学校、合同・一貫校、特別支援学校より129団体が表彰されました。本県からは、私達花輪小学校PTAと横手市立金沢中学校PTA様が表彰され、私が本県代表として登壇し、ご多忙中の田中真紀子文部科学大臣に代わり、倉田隆史文部科学省生涯学習政策局長より表彰状を頂いてまいりました。

この栄えある賞は、本校にPTAが設立されて以来、PTA会員として活動された全ての方々に与えられた賞です。くしくも今年が本校PTA創立60周年の節目の年であり、この節目の年にこのような素晴らしい賞を頂くことができ大変うれしく思います。何よりも現在のPTA活動の礎を築き守ってこられた先輩の皆様に感謝申し上げます。

現在、本校PTA（児童数477名、会員数411名）は、総務部、生活部、厚生部、広報部、学年部の以上5部門で構成されており、それぞれの部の主な活動を紹介します。総務部は、会員の研修活動を行っております。今年は、秋田市の岡村動物プラザクワジオン様をお招きし、「親子と命の授業」を開催しました。いろいろな動物たちと触れ合う子供たちの様子が、テレビのニュースで報道されたので、ご覧になられた方もいらっしゃると思います。生活部は、児童の安全確保、毎月「5日」に鹿角市で実施されている「声かけ運動」への参加や反射材の配布を行っております。厚生部は、会員の健康増進を目的に「八幡平親子登山」の実施。「登山」という言葉を使っておりますが、低学年でも参加しやすいように配慮し、頂上の遊歩道をパークボランティアのご協力を得ながら鹿角の自然を満喫しております。広報部は、広報活動、年3回のPTA会報「三本木」の発行を実施。児童の活動や会員の活動を色々な角度から紹介し続け、現在のところ第104号まで発行されております。学年部は、各学年単位でのレクリエーション活動を企画・運営し、学年単位での会員の経験を深めております。その他、全体の取り組みとして、本年度から各会員への連絡手段の一つとして、「携帯電話のメール」を活用する方法を構築しております。

ご紹介した活動は、PTA設立当初の活動とは随分変わったと思いますが、設立当初から不変のものがあります。それは、「子供達の為に」という強い気持ちであります。この気持ちがある限り、私達の活動は、より良い活動に変化しながら次の世代へと引き継がれと確信しておりますので、今後は、この受賞を機に、より一層の活動ができるよう成長し続けたいと思います。

今後とも本校PTAに皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



地域と一体となった活動

横手市立金沢中学校PTA会長

佐藤学 氏



この度、本校PTAが、平成24年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞いたしました。今回の受賞は、日頃より、秋田県PTA連合会、秋田県教育委員会、そして、関係の皆様のご指導ご支援があってのことと感謝申し上げます。

生徒数58名の本校は、本年度で66年の歴史に幕を下ろします。PTAでは、地域の皆様を支えられてきたことへの感謝の気持ちを、どのように表したいか模索してきました。そんな折り、66年間の取り組みが評価された今回の受賞を多くの方々にご紹介することができ、喜んでいただく所です。

本PTAの、地域と一体となった活動について紹介します。

再生资源回収活動は、学校とPTA校外指導部が共催で行っている夏休みの事業です。PTA校外指導部は、地域の方々と交流を持ちながら全戸にチラシを配付する生徒を支援し、当日の活動につながります。活動は、PTA校外指導部以外のPTA会員も多く参加し、全生徒と共に行われます。金沢地区全体が中学生を支えていることを感じるこができる事業です。

金沢地区全戸が会員となっているのが、昭和51年に組織された金沢中学校教育後援会です。PTA校外指導部員が、会費を徴収したり地域をとりまわったりする役割を担いますが、PTAとは切り離れた組織となっています。部活動の助成などが主な事業ですが、地域の皆様



は、その他に中学生がいてもいいなくても、中学生の活躍を楽しみながら支援して下さっています。

総合的な学習の時間で学んだ、掛甲・さ

ら舞・八幡太鼓は、金沢八幡宮祭典で披露されます。中学生が金沢地区を応援するパフォーマンスを行った金沢地区大運動会は、公民館と中学校の共催で行われています。PTAは、このような活動を陰ながら支援してきました。

自分自身のことを考えたり、自分の存在意義に疑問を感じたりはじめての中学生ではないでしょうか。そんな時、家庭や学校だけでなく、地域行事に参加し地域の方々と一緒に活動することで、自分が自分であることの意義に気づき、生きる力をもらうこともあるのではないかと思います。

「金沢(ふるさと)の歴史(とき)はつづく」という閉校事業のテーマを胸に、今まで以上に中学生が輝く地域をつくっていくため、このたびの文部科学大臣表彰受賞をエネルギーにしていきたいと感じています。



教育 懇談会



本会役員と県教育委員会の方が出席し、より良い教育環境づくりを目指して、1月25日(金)標記懇談会を開催しました。

県教委からは、米田教育長、吉川義務教育課長、小川生涯学習課長と各課の担当課員、本会からは会長、副会長、委員等の出席があり、いじめ、インターネットセーフティに関する問題について活発な意見交換が行われました。その概要を報告します。

米田教育長あいさつ

県では大震災の教訓を踏まえて、昨年9月県生涯学習ビジョン、10月には秋田県の教育振興に関する基本計画を策定し、施策を行ってまいりました。

中では、PTAの皆様とはPTAフェスタやフォーラムの開催など連携、共同の事業を行ってまいりました。これらを通じて、行動人による元気な秋田づくりの一翼を担われていることと理解しています。

学んでいくことは、一生続くことで「学力」「学んでいく力」が大事なことです。子どもたちがいろいろな面から学べるよう、サポートをしなければなりません。2050年あたり今の子どもたちがどう暮らしているかを考えながら、我々は教育に携わる必要があるかと思っています。

いじめの問題について

義務教育課 大塚博尚課長

いじめの認知件数については年度途中の調査で、小学校では例年の3.5倍、中学校では1.3倍になっていますが、本県はいじめが増えたのではなく、全国的に意識が高まったのころを思われます。そのうち、解消したといふのが小学校で62.3%、中学校では93.1%となって全国の平均よりは高いが、100%ではないので、まだ悩んだら困っている子どもたちがいることの視点を忘れてはならない。

いじめの態様では、小中ともに冷やかしやからかいが1位です。大したことではないと思われることも本人にとっては重大なことと思います。仲間はずれや無視も人権に関わることとして対応しなければなりません。

重大な事態に至る事例は0(ゼロ)ですが、数値に表れないものがない、常の観察等が必要と思います。

学校には、いじめの芽になるようなところを見つけるポイント「早期発見チェックリスト」がいじめられた子どもに届いた対応「など先生向けのリーフレット」を配布しております。

子どもたちが自分と違って当たり前にいろいろな個性を認めていくことは、地域の行事に参加することで、異年齢の子どもとも関わることで培われていくことだと思いますので、PTAの方々の協力をお願いします。

質問・意見

- いじめの情報が学級担任で止まらずに、校長やPTAにも伝えて連携して解決を考えていただきたい。保護者向けのリーフレットが欲しい。
- チェックリストは保護者にも参考になるので、ホームページから取れるようにしたい。
- チェックリストの活用は大いにしていただきたい。行っていないとはいえないと言っている子どもを指摘しています。傍観者の子も心配です。
- 落ち着かない子、集団行動に慣れない子が増えています。幼児からの教育が必要だと思います。
- 学校では、いじめをしないことに主体的に取り組んで、子どもたち自身が相手の立場になって考えたり、いじめを起さない学校づくりの実践をしています。
- いじめが激化してきているのか、いじめを受け止める力が足りなくなっているのか、子どもの中で変化が起きているのか教えて欲しい。成長の段階で必ずしも変化はあるもので、いじめを根絶する対応法を学ばなくなら、それを経験する中で大人になるのではないかと思えます。
- いじめ方も変わってきています。受け止める力も足りなくなっていると思います。いじめになっっているかもしれないという視点を持って対処していくことが大切だと思います。

インターネットセーフティについて 生涯学習課 森川社会教育主事

インターネットセーフティは、地域や家庭が子どもたちのインターネットの健全利用をどのように支えていくのかという視点を持った取り組みですが、来年度から3年間重点事業として進めていきます。

インターネット関連は多様化、小型化し、家に居なくとも見えないところでインターネットができる状況が広がっています。また、いろいろな店や公共機関でも無料や有料で繋がっているようになってきています。今年に入ると県内の中学生がフィッシングサイトの犯罪に係わっていたニュースもありました。

インターネットの環境が変わったことによるトラブルが非常に増加していますが、一つはいじめの問題です。県でもネット・トロールを行っていますが、要約件数が減ってきています。これは、コミュニケーションサイトに第三者が入れない状況になってきて探しくなくなっているということですが、そんな中で、誹謗中傷があったり、個人情報が出やすくなっています。二つ目は、有害情報の問題です。以前は有害情報を区分けて隠す取り組みがあったのですが、今はインターネット上で行われる区別できなくなっています。インターネットに夢中になったの健康や依存の問題もありません。

県内の大人の携帯所持率は68.1%で全国最下位、ネット利用は68%とこれらも4位以下の下位です。高校生は95%を超える所持率で、子どもと大人の格差が広がっています。先生方や家庭、子どもたちの中でも広がっています。それを解決するのはとての難がですが、地域の中でどうやって話をして、向き合っていくかがポイントになるかと思っています。

そのためにも、様々な方面からの協力、連携が必要です。インターネットセーフティについての推進委員会を立ち上げ、取り組みを確認、共有しながら取り組めます。

インターネットに関する問題やガイドを企業から提供をいただきながら、モデル地域を設けて地域サポーターの養成をします。インターネットトラブルに關しての話をするだけの講師を育てるのではなく、学校、地域、家庭を結ぶような人材の育成を考えています。家庭教育支援は、市町村が関わる部分ですので事業支援を進めます。県PTA連合会の皆様との連携も重要になってきますので、来年度以降よろしくお願ひします。

質問・意見

- 娘が5年生で、去年から携帯を持たせています。タブレットもありです。今年の夏、「あれっ」と思うような項目がありました。成長段階には必要なことだと思いますが、正直衝撃的なものでした。自身、スマートフォンを使い始めて、便利で楽しいと思います。子どもにも利用に関しては、見守りたいと思います。
- 高校生は娘がスマートフォンを持っていて、私と中学生にはありません。娘が持たないで何をしてしまうらいいの、同じ土俵に立っていないことが問題です。講座などを子どもと一緒に聞いて、知識を共有したいと思っています。
- 秋田県の子どもたちの学力を考えると、心身ともに健康であることが出てきます。基本的な生活習慣は、インターネット利用とも切り離して考えることができません。講座では、最初に基本的な生活習慣について話をしています。
- ネット社会でも現実の社会と同じように考えることが必要だと言いますが、携帯電話に關しては持ち込んでも指導が難しいので、家庭の中で親子の話し合いをしてルールを決めていってほしい必要があると思います。そのようなコミュニケーションをどうやって育てていくか、支えていく人材、地域が必要になります。PTAの皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

米田教育長とめ

新しい美術館のPRに作ったものの中に「秋田わか野子学びの十か条」を入れました。この資料を文部科学省に持って行きました。栃木県高等教育局長(元秋田県副知事)さんに改めていいね!と言われ、文科省で評価されて全国的に広まっています。いいね!とお喜び、人間がその社会で生きて行くにあたって、自分が他の誰かのため大事だと思われていると自覚が持てる人間関係が必要だろうと思います。学校の中でも、教室に必要な存在であること、自分は役に立っているという気持ちを持つような仕掛けをしていくことがいじめをなくす上で大切だと思っています。

学校では原点にたった教育を実践していただけのように、我々が行政の立場で環境を改善していく必要があると思っています。

家庭では、お父さん、お母さんにとって大事な存在であることを伝えること、大きな役割だと思っています。



メモリアルページ

今年度をもって PTA 活動の区切り（閉校）となる学校があります。
PTA 会長会長のコメントとともに校舎・校章を記録として残したいと思えます。
①創立年月日 ②児童・生徒数

小坂町立七滝小学校



①明治23年2月6日
②32名

日本の海百選の一つである「七滝」を日の前にし、学習や昇進に励んで来た学校も123年の輝かしい歴史と伝統を下さします。心の中に永遠と語り継がれ、地域や先生・保護者に愛されて来たことを忘れずに今後の活躍を期待します。母校がありがとうありがとう七滝小学校。

北秋田市立浦田小学校



①明治8年10月8日
②21名

5代目である現校舎も木の香りいっぱいの暖しさあふれる校舎、そんな温かい校舎の中で全校児童が仲よく助け合って学んできました。今まで支えていただいた多くの皆様へ心から感謝します。

五城目町立馬場目小学校



①明治8年2月20日
②14名

若駒おとる清らかな馬場目川のほとりの高台にそびえ立つ学び舎は、138年の歴史に幕を下ろします。地域に愛され、支えられてきたことを胸に、馬場目小学校への思いは永遠に続くことでしょう。

由利本荘市立北内越小学校



①明治7年3月24日
②45名

地域の皆様を支えられ、小規模校の良さを生かし、様々な活動を展開してきました。139年に歴史に対し感謝をしながら、地域の宝物達が総合校でも健やかに成長するよう、心より願っています。

由利本荘市立川内小学校



①明治7年7月1日
②116名

上田野の丘で数多くの子どもを育んだ本校も、139年の歴史に幕を下ろします。雄大な鳥海山を間近に臨む校庭の、桜、柳の木は、これからも子どもたちを見守ってくれることでしょう。

由利本荘市立直根小学校



①明治7年10月15日
②33名

富峰鳥海山の麓、四季折々の豊かな大自然の中で、多くの子どもたちを育ててくれた直根小学校、ありがとう。山の子われらの校歌とともに数々の思い出は、いつまでも語り継がれることでしょう。

由利本荘市立笹子小学校



①明治7年1月6日
②67名

明治7年開校以来、地域文化の振興と発展に寄与してまいりました笹子小学校も139年間という長い歴史に幕を閉じます。「雪にあらしに負けたい」たかましいねんこの心は永久に生き続けます。

美郷町立千畑南小学校



①昭和47年4月1日
②146名

創設80年の桜百本に囲まれ広々とした校庭。春には見事に咲き誇る桜。「咲かせよう夢に向かって桜子」をテーマに、明るく元気に育まれた子どもも輝き、支えて頂いた地域の皆様へ感謝致します。

美郷町立千屋小学校



①明治13年1月13日
②213名

「日毎に繁る若松の」並木道とともに豊かな心を育んだ千屋小が133年の歴史の幕を下ろすこととなりました。今まで温かく支えてくださいました皆様に、心より感謝申し上げます。

美郷町立仙南東小学校



①明治8年11月16日
②111名

歴史と伝統を継ぎ上げ、支えて下さった多くの皆様方に感謝申し上げます。本校はたくさんの方々にたくさんのおい出を残し、一人一人の心に深く刻まれ続けるでしょう。ありがとう仙南東小学校。

美郷町立仙南西小学校



①明治8年8月28日
②121名

本校は、137年の歴史に幕をおろすことになりました。「やさしく つよくて かしい 西小の子」をモットーに今年度も19名が巣立っていきます。4月からは、本校で培ったパワーを美郷中学校や統合の仙南小学校で生かしてほしいと思います。

美郷町立金沢小学校



①明治7年7月6日
②94名

森の学校として地域に親しまれ、見守られてきた金沢小も138年の歴史に幕を下ろすこととなりました。

今まで支援していただいた多くの皆様により感謝申し上げます。

横手市立鳳中学校



①昭和33年9月1日
②206名

横手の北部、大鳥井山道跡に隣接する鳳中学校も55年の歴史に幕を下ろします。子供達は校則「生手」を胸に刻み、鳳の如く青雲を羽ばたくよう成長してほしいです。「鳳鳴」永、永遠に！

横手市立横手西中学校



①昭和38年4月1日
②57名

創立50周年の年に開校を迎えました。鞋の稚魚放流活動で心豊かになりました。西中の伝統を横手北中学校に引きついでくれるはずですので。支えていただいた地域の皆様により感謝申し上げます。

横手市立金沢中学校



①昭和22年4月1日
②58名

後三年合戦ゆかりの地「陣殿」に建つ本校は、史跡・伝統、豊かな自然に恵まれています。そんな本校から五千余名の生徒たちが巣立ちました。この地に生まれ、金中で学べたことに感謝します。

H25年度 小中学校 統廃合の状況

七滝小	→	小坂小へ	千煙南小	}	千煙小 (※新設)
瀬田小	→	米内沢小、新田小へ	千屋小		
馬場小	→	五城目小へ	仙南東小	}	仙南小 (※新設)
北内越小	→	新山小へ	仙南西小		
		(※一部、岩谷小へ)	金沢小	}	横手北中 (※新設)
川内小	}	鳳海小 (※新設)	金沢中		
直穂小			横手西中	}	横手北中 (※新設)
笹子小	金沢中				

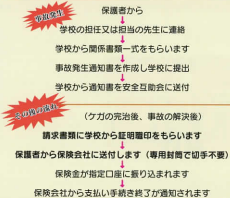
平成25年度開催研究大会のお知らせ

- 第61回日本PTA全国研究大会みえ大会
みえに集えばきつとみえる・・・三重からの「わ」
～はじまりの地で 語り育もう 子どもたちの未来～
開催日 8月23日(金)～8月24日(土)
会場 三重県営サンアリーナ 他11会場
- 第45回東北ブロック研究大会福島大会
「ほんとの空の下で語り合おう!笑顔あふれる子どもの未来を」
～見つめ直そうPTAの絆、私たちがすべきことの再発見～
開催日 9月7日(土)～9月8日(日)
会場 パルセイロいざか 他5会場
- 第39回秋田県PTA研究大会能代山本大会
開催日 10月27日(日)
会場 能代市文化会館

三行詩コンクール入賞作品

- 佳作 山利本荘市立山利小学校1年 花藤匠真(たくま)
- おはよう、おやすみ
ありがとう、ごめんさい
がぞくをつなぐ まほうのことは

秋田県PTA安全互助会から 保護者の皆さんへ



～加入のお願い～

秋田県PTA安全互助会では、児童・生徒・PTAに対する総合補償制度への加入促進に取り組んでおります。
平成25年度の「加入のご案内」について3月中旬に各単位PTAあてにお送りいたします。安全互助会の趣旨をご理解いただき、特に未加入校におかれましては、役員会等でご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

郡市 PTA だより

かつの

●学校支援と生活習慣への取り組み

今年度のPTA活動を考える会の主なテーマは、学校支援に関わる取組と食育・生活習慣についてでした。

講演では学校支援と企業との関わりによって、学校では実現できない学習プログラムの紹介などがあり、いくつもの企業が関わっている現実を感じました。

また、食育については、各校独自の工夫をこらした教育が展開されておりました。特に、生活習慣では、テレビ、ゲーム、パソコンなど、情報端末に関わる家庭での使用について、使用時間の規制の仕方や、

ノーメディアデーの実施など、感心させられる取組がたくさんありました。

機会があれば、これらの取組を継続した後、その成果がどうであったかを検証する場があれば、より有意義なものになると考えています。



大館北秋

●子育て支援、熱く語る講演会

今年度、大館市小中PTA連絡協議会と共催し、PTA功労者表彰と講演会を実施しました。

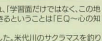
講師は、秋田職業能力開発短期大学校長の田之倉信氏。「子育て支援、保護者としてのどうよに関わる～EQと脳への刺激～」と題してご講演をいただきました。

田之倉氏は、東京都出身で、大館市に単身赴任し、ある日の朝散歩中に、地球の子どもから元気なあいさつをされたそうです。田之倉氏とはとても感謝し、秋田県が全国学力・学習状況調査で常に上位のことも難れ、「学習面だけではなく、この地区は、子どもが誰にでも自然にあいさつができるということは「EQ」心の知能指数も発達している」と感じられたそうです。

また、ご自身の経験についても述べられました。米代川のサクラマスを釣りたい思いを達成するために、計画を立て準備を入念にし、やっと釣り上げたそうです。

子どもへの支援、親としての関わりを自らの体験を交えて熱く語っていただきました。

「親として、よく考えた言葉かけをすべきであった」との感想が多数寄せられました。講演会に参加した多くの会員は、保護者としての意識を再認識することができたのではないのでしょうか。



能代山本

●地域防災フォーラムに学ぶ

今年度は県教委主催の表題の催しが県北では11月に能代市文化会館において開催されるにあたり、当連合会では研修事業として取り上げ広く会員への参加をお願いしました。

講演では気仙沼市立南上中学校長の小野寺先生より学校における防災教育への取組が、その後、被災地視察報告、これを受けてのバリエーションが示されました。

フォーラムの副題は学校における防災教育と地域連携のあり方についてであったが、特に地域連携のあり方は行政も絡む問題でも、必ずしも学校PTAだけで解決できる問題ではなく、これから尚一層の協力が必要である分野と感じる次第であった。

東日本大震災もさることながら当地区では昭和58年の日本海中部地震で甚大な被害を受けたばかりでなく津波による多数の死者が発生した。また八森地区の海岸に位置する小学校は実際に児童が走って高台に非難した経験も持つ。

秋田県沖を震源とする地震による最大津波高が発表されたばかりであるが、私共の経験も広く周知に伝えること、更なる災害への備えの必要性を痛感することであった。



男鹿市

●スポーツを通しての親睦交流

当連合会では、会員の親睦と交流を深めることを目的とした野球大会、ソフトバレーボール大会をそれぞれ7月と11月に実施しました。

特に女子のソフトバレーボール大会では、市内13校のすべてのチームが一室に集って、子供連や地域の方々の声援のもと、白熱した試合が繰り広げられました。

現在、児童、生徒数の減少に伴い、PTA会員も少なくなっている中、とまずいは親睦士の連携やPTA活動に対する意識も以前より薄くなりがちですが、

本事業を通して、改めて親睦士の連携を深めつつ、自分達で頑張っている姿を子ども達にも見せられる良い機会となりました。

今後も交流会や研修会などを行いながら子ども達との環境づくりに繋がるようなPTA活動に取り組んでいきたいと思っています。



潟上南秋

●子どものスポーツを考える

潟上P連では毎年研修会を開催しています。今年度は、12月2日(日)、羽城中学校を会場にして、ハートインクリニック院長の佐々木康雄氏から、講演をしていただきました。演題は「昨日スポーツ 今日部活 明日はメタボか 節制して 一生涯のスポーツを考える～」でした。講演内容は次のようなものでした。

○スポーツの功罪は裏に隠れている。良い作用もあるが、悪い作用もある。

○スポーツ少年団の活動時間について。

○けが予防のためには準備運動を30分、クールダウンを10分行うことが大切である。

○子どもたちのスポーツの指導者はコーチングの姿勢を持ってほしい。

コーチングとは「能力を引き出す」「個々のレベルに応じた支援」「共感と称賛」が大事である。

○大人の職場環境にはスポーツクラブなどが有効である。

○メタボ対策として、市民の憩いの場としてスポーツ施設の建設を充実させてほしいと思っている。



秋田市

●親とは立木の後から子を見守るもの

当連合会生活安全部主催の第2回会員研修会を12月5日(水)約100名の会員参加のうちに開催した。研修会には、さかもと動物病院院長 坂本尚志先生を招き、「大切なあなたに・・・伝えたいこと」と題して、講演をしていただいた。

先生は、「一番大切な人は誰か?」「家族からしてもらって嬉しかったことは何か?」「等参加者全員と受け答えなしから進められた。また、伝えたいキーワードとして、「儲める・褒める・かっこいい・大丈夫・一番大切な人・不安のない世界・命の大切さ」等々語られ、「言葉で伝える大切さ」を学びました。

いっすかしくて口に出せない言葉はありますが、朝起きて鏡に向かい、「私はかわいい!」「僕はかっこいい!」を3回唱えてから家を出ることをお勧めするそうです。



大仙市

●「～共に創る、考え開く～『語ろう!かだろ!』」

本市PTA連合会では、保護者と教師が相互に協力して、家庭・学校(園)・地域における子どもたちの健全な育成を目的に、各種研修会を企画・実施しておりま



す。
第1回目の研修会では、国際教育大学の中嶋雄雄理事長をお招きしての講演会を実施しました。講師の先生からは、これからのグローバル社会において、人材育成と英語教育の重要性を具体的な事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

第2回目は、今年度環境教育に力を入れて取り組んでいる藤木小学校への視察研修を行いました。生き生きとした子どもが主役の授業参観や保護者の関わり方などについての協議会等、とても実りのある研修会となりました。

第3回目は、2月に県の学習状況調査結果についての大会市としての分析や学校支援地域本部についての研修が行われる予定です。

美郷町

●交流研修会「防災教育」

本連合会では毎年会員を対象とした交流研修会を開催しています。今年度は、東日本大震災の教訓を日々の生活に生かしていくと言うことで防災教育の研修



会を行うことにしました。今回は、美郷町社会福祉協議会の事業「防災教育にチャレンジ」を活用させていただき、研修会を開催することにしました。講師はNPOさくらネット理事石井由紀子氏にお願ひし、「災害にも強い地域作りと防災教育」と題して講演いただきました。石井氏は取神大震災を自ら経験されており、その経験と今回の大震災におけるボランティア活動避難の様子などを中心にお話しいただきました。災害にあったときの一番強い味方がその地域や町の「ご近所同士」の横のつながりであることを力説されました。本会の会員もPTAを中心とした連携を強化しようという思いを強くした有意義な会となりました。

横手市

●研究集会「食育を考える」

今年度の市PTA連研究集会は「たくましくすくすくやがに 心と体」をテーマに、約百五十名の会員の参加を得て、講演会を開催した。

講師に、横手市立平直中学校の佐々木景子栄養教諭をお招きし、「食育と基本的な生活習慣の確立」と題し、「講演をいただいた。三部構成で『学校給食と食』(野菜嫌いをなくす料理の工夫)「これから子どもに期待することについて一時間三十分にわたり貴重なお話を伺った。

長年培われた専門的な知識と実践に基づいたお話は、圧倒的な説得力で会員を引き込み、「食」が健康な身体と精神の育成において、いかに重要な位置を占めているかを具体的に教えて下さった。

休憩時間には、先生手作りの「肉を使わないミートソース(美味しかった!)」の試食があったり、お土産として「平直中学校入りクッキー(最高!)」をいただいたりと、我が家の「食」を考え直す貴重な一日となった。



由利本荘市

●市P連「熟語」開催

9月1日(土)、当連合会としては、初めての「熟語」を開催した。

市教育委員長及び市教育委員会関係各位、各本市代表・市教育委員会及び地域住民約80名が11グループに分かれ、当連合会の今年度の4つの具体目標について意見交換をした。

その後、各グループにおいて、家庭・地域・学校が子どもたちのためにいからできること、なすべきことは何かという視点で熟慮し、さらに、その深めた意見・提案等を報告し、他のグループの討議内容を知らずとも今後の活動の一助とした。最後に、市教育長より訓辞をいただき、初めての熟語を閉会した。

なお、今回の熟語としては、秋田さきがけ新聞とゆりほんじょうテレビ(ケーブルテレビ)の取材も受け、熟語の様子を広く市民に伝えることができた。



仙北市

●熱く燃えた県大会

今年度の県大会を10月27日(土)～28日(日)に読書活動推進と防災教育の2つの分科会で「守ろう 大切ないのち 育てよう 豊かな心」をテーマに開催いたしました。1日目は天気にも恵まれずばらしい紅葉で皆様をお迎えすることができ、情報交換会では220名での大広間で交流を、各部屋に戻って夜更けまで懇話を深めることができました。2日目は児童文学作家岡田厚氏による基調講演で大会の幕を閉じることができました。この大会を通して仙北市PTA連合会は更に一つまとまることができよりよいPTA活動に努めたいと考えています



にかほ市

●教育懇談会

にかほ市PTA連合会では、毎年、市の教育関係者を招いて教育懇談会を行っています。

今年度は、12月7日(金)、象鼻「道の駅」を会場に開かれました。にかほ市教育長遠田龍氏にお出でいただき、にかほ市の学校統合についてご講話をいただきました。

にかほ市でも、少子化により、これから数年のうちにいくつかの学校が統合される予定になっていきます。その経緯や今後の見通し、複式学級の解消など統合のメリットについて詳しくお話いただき、保護者側も理解を深めたようでした。

特に、27年度に統合を控える仁賀保地区の会員からは、具体的な質問も飛び、有意義な会となりました。

懇談会後の懇親会も盛況でした。



湯沢雄勝

●楽しい充実した講演会…感謝の声多数!

今年度の市PTA連研究集会は、羽後PTA連研究集会とも兼ね、9月14日(土)に羽後町の文化交流施設「美里宮」において行われました。研究主題「感じる 気づく 行動するPTA ～育てよう 健やかな心へ～」のもと、地元羽後町出身でプロデューサー兼パーソナリティとして活躍中の石塚政和氏を講師としてお招きし、講演会を実施しました。演題「よ！れ！悪い子・普通の子 結局やっぱりあなたの子」でした。

講演では石塚さんの軽妙な語り口とどんでん引き込まれ、たくさんの笑いの中にも本音・大切なことが多く含まれていて、250名ほどの参加者にとって楽しい有意義な時間になりました。「愛情豊か伝えることの大切さ等、心に響く法がたくさんありました。言葉で大変に、親が子どもに哲学をかみかみだてて、伝えていかなければと強く感じました。」等の感想が多数寄せられ、家庭力の重要性を改めて考えさせられたひとときでした。



「心のきずな61キャンペーン」 募金について

(社)日本PTA全国協議会が東日本大震災後の継続する支援活動として開始した標記募金にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本県での募金は次のとおりでした。引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 7月8日(日)PTAフェスタ …………… 70,247円
- 7月～平成25年1月
全県小中学校等からの募金 …………… 270,793円
- 日本PTAへの送金額 …………… 341,040円



◆ 平成25年度行事予定 ◆

- 5月25日(土)
新・旧都市PTA連合会会長会議
- 6月1日(土)
秋田県PTA連合会・安全互助会定期総会
- 6月29日(土)
秋田県小・中学校PTA会長会議
- 8月23日(金)～24日(土)
日本PTA全国研究大会みえ大会
- 9月7日(土)～8日(日)
東北ブロック研究大会福島大会
- 10月27日(日)
秋田県PTA研究大会能代山本大会
- 11月16日(土)
第2回東日本大震災復興支援チャリティー&PTAフェスタ

携帯電話からも会員登録OK!ますます便利に!

えきねっと

会員募集中

www.eki-net.com

くねいば(えきねっと)ホームページをご覧ください

会員登録
無料

「えきねっと」なら
パソコンや携帯電話で
きっぷの申し込みが
できてとっても便利



「えきねっと」なら
乗車日の1ヵ月+1週間前に
指定席の事前購入登録ができます。

※利用・乗車電話からのご予約は乗車日の1ヵ月前(平日)からとなります。
※指定席発売時で購入できます。



日新火災



日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう「顔のみえるおつきあい」で、お客さまのご期待にお応えしたいと考えています。

お客さまに最も身近で誠実な損保を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社

日新火災海上保険株式会社

秋田サービス支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2-4F TEL.018-837-5255

編集後記

卒業、進学、進級おめでとうございます。

本年度も会員皆様のご協力をいただき、計画した多くの事業について、大きな成果と思い出を残して終了することができました。深謝申し上げます。

厳冬の季節、三行詩コンクール入賞のニュースが届きました。由利小学校1年 さとうたくまくんの詩です。春の雫の温もりのようなうれしい報せでした。秋田つ子的そごちからです。

新しい年度が始まります。「愛してやまない子どもたちのために」を胸に皆様のPTA活動を応援したいと思っております。

(N)